



義務教育学校 曾爾小中学校だより

令和3年(2021)11月2日
編集発行責任者 森川 敏和

学校教育目標

「心豊かでたくましく、自ら学ぶ意欲をもち、ふるさとを大切にすることの育成」

読書しよう!!

秋が一段と深まり、朝夕はずいぶん寒くなってきました。10月の学校だよりでは、「食欲の秋」から「MOTTAINAI」を考えました。今回は、「読書」について考えてみたいと思います。みなさんは、秋の読書週間を知っていますか？1947年、日本出版協会、日本図書館協会、取り次ぎ書店の流通組織、その他報道・文化関連団体が参加して「読書週間実行委員会」が結成されました。1回目は、11月17日から11月23日までの1週間を「読書週間」として行われました。しかし、1週間だけでは惜しい、短い」ということで、2回目からは、10月27日から11月9日までの、「文化の日」を挟んだ2週間となり、現在に続いています。

本を読もうと思うなら、まずは、薄い本や読みやすい本を読んでください。一冊読み切ったという達成感や満足感があると、次の本も読みたいという気持ちになるでしょう。

さらに、手の届くところに本を置いてください。いつも手の届くところに本があれば何度も本を目にしますし、手に取りやすいと読む気にもなります。どんな本を読んだらいいのかなあと迷う人は、自分が好きなこと、興味があること、関心を持っていること、憧れていることなどの本をえらんでみましょう。好きなものであれば最後まで読むことができます。新型コロナウイルス感染症の影響で、外にも出かけにくくなっています。こんな時だからこそ、家族みんなで読書の秋を満喫してみるのもいいのではないのでしょうか。

読書週間

昨年度2学期から始まった読書「スタンプラリー」。図書室で本を借りた日に、スタンプを押してもらえます。スタンプは毎日変わり、カードがスタンプでいっぱいになると景品がもらえます。この日も「スタンプカード」をもって子どもたちが来室していました。

子どもの読書習慣は日常生活を通して形成されるものであり、われわれ大人が読書に親しみ、読み聞かせをしたり読書する姿を見せたりすることが大切です。保護者の皆様におかれましても、ご家庭で子どもたちへの声かけのご協力をお願いします。



学習発表会 10月12日

体育館の舞台発表では、合奏・合唱、ふるさと芸能で学習した「獅子舞」、音楽部演奏などが行われ、子どもたちは緊張しながらも堂々と発表していました。今年度は幕間に、「跳び箱」の成果発表、「お手玉」「ルービックキューブ」の特技披露、各学年の展示紹介など初の試みもありました。たとえ失敗しても、精一杯頑張っている姿は人を感動させます。

学習発表会に向けて、子どもたちに指導助言してくださった講師先生の方々に厚くお礼申し上げます。来賓、保護者の皆様には、最後まで参観していただき、ありがとうございました。



9年修学旅行「三重・滋賀方面」10月24日～26日

今年度は、「三重・滋賀」方面への修学旅行となりました。1日目の鈴鹿サーキットでは、子どもたちは時間が過ぎるのも忘れ、園内を駆け巡っていました。その日の午後は、鈴鹿市から鳥羽市へ移動し、ジェルキャンドル作りを楽しみました。2日目は、あいにくの雨でありましたが、鳥羽水族館の見学、伊勢神宮・おかげ横丁での参拝と買い物を満喫していました。その後、三重県から滋賀県に移動し、ホテル到着後、滋賀県平和資料館の講師先生による出張授業で平和について学習しました。お話を通して「戦時中を生き抜く人々の姿」を学び、滋賀県だからこそできる平和学習をしました。最終日、彦根城と滋賀県立琵琶湖博物館の見学を終えて、多くのお土産と思い出を奈良へ持ち帰りました。

